

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	北区
学　校　名	堀川小学校
学校長名	衣笠　博政

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2 調査内容

#### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

#### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

### 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・堀川小学校では、第6学年 166名

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数とともに、大阪市平均および全国平均を大きく上回る結果となった。平均正答率は、全国平均と比較して国語が7.2ポイント、算数が14.0ポイント、理科が5.9ポイント上回っている。

また、平均無解答率は全国平均と比較して国語が0.8ポイント、算数が1.4ポイント、理科が1.2ポイント下回っており、諦めずに粘り強く問題に取り組む児童が多いことがうかがえる。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

## [国語]

学習指導要領の内容「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「(2)情報の扱い方に関する事項」「(3)我が国の言語文化に関する事項」「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」のすべての項目において、全国平均を上回る結果となった。特に「C読むこと」は10.5ポイント、「(3)我が国の言語文化に関する事項」は9.2ポイント全国平均を上回った。日々の学習において、自分の考えをペアやグループで交流し、深めていく活動を各教科で継続しており、その積み重ねが成果につながっていると考えられる。

## [算数]

学習指導要領の領域「A数と計算」「B図形」「C測定」「C変化と関係」「Dデータの活用」のすべてにおいて、全国平均を上回る結果となった。特に「C測定」は15.6ポイント、「C変化と関係」は14.9ポイント全国平均を上回った。日々の授業において、「考え方を書くこと」「考え方を交流すること」を低学年から継続して取り組んでおり、それが成果につながっていると考えられる。

## [理科]

学習指導要領の領域「エネルギーを柱とする領域」「粒子を柱とする領域」「生命を柱とする領域」「地球を柱とする領域」のすべてにおいて、全国平均を上回る結果となった。特に「地球を柱とする領域」は11.2ポイント全国平均を上回った。日々の授業において、導入を工夫し、児童の「学びたい」「知りたい」という好奇心を引き出す授業づくりや、自主学習の推進に取り組んでいることが成果につながっていると考えられる。

質問調査より

本校では、児童の学習意欲の向上と学習環境の充実に力を入れて取り組んでいる。その成果として、平日・休日ともに授業時間外の学習時間に関する肯定的回答が全国平均を大きく上回り、特に休日の学習時間では+16.6ポイントの差が見られました。また、読書が好きという回答も全国平均を+10.5ポイント上回り、学びに対する前向きな姿勢が育まれている。

さらに、授業においては、先生が児童の理解不足や間違いに丁寧に対応し、分かるまで教えていると感じている児童が全国平均に比べて多い。これらの結果は、児童一人ひとりの学びを支える教育活動及び自主学習の推進の成果であり、今後も継続的な取り組みを進めていく。

## 今後の取組(アクションプラン)

- ・普段の授業において、課題に対する考え方を記述し、ペアやグループで交流することで思考を広げ、深める活動を各教科で取り入れている。また、考え方を短くまとめて書く活動や、授業の最後に自分の言葉で振り返りを書く時間も設けている。今後も、これらの活動に継続して取り組んでいく方針である。
- ・すべての子どもにとって分かりやすい授業をめざし、全教職員で研究や研修を積み重ね、授業改善に取り組んでいく。
- ・学習した内容が実生活に役立つことを実感できるよう、他教科や領域と関連付けた指導を行う。
- ・子どもたちにとって「楽しい学校」「楽しい行事」となるよう、行事の方法や内容、取り組み方を工夫し、達成感や成就感を味わえるようにする。
- ・調べ学習、家庭学習、自主学習など様々な場面でICT機器を積極的に活用し、学びをより深めていくようにする。
- ・大阪市教育委員会のブロック化による学校支援事業である自主学習を今後も推進し、児童が自らの興味関心に基づいて主体的に学習を進めていけるようにする。

## 【 全体の概要 】

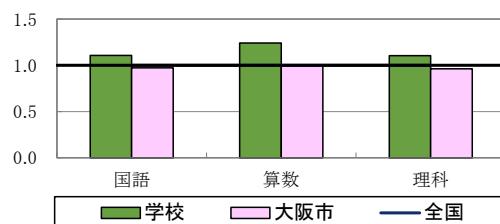
### 平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	74	72	63
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

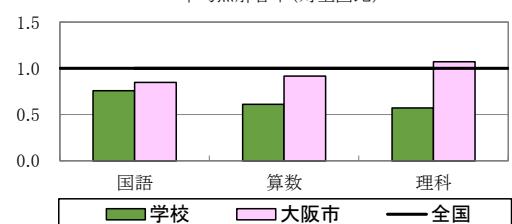
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	2.5	2.2	1.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



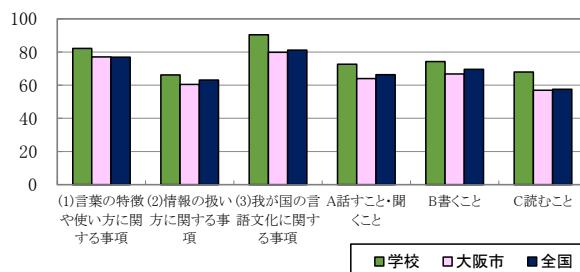
## 【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	82.2	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	66.2	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	90.4	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	72.6	64.0	66.3
B 書くこと	3	74.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	68.0	56.9	57.5

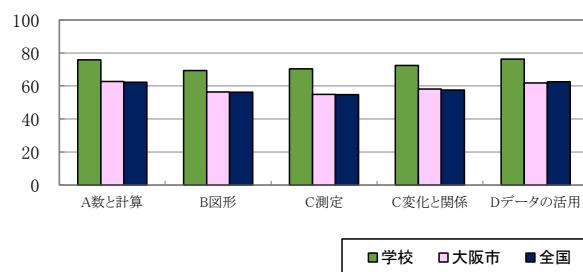
## 【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	75.9	62.7	62.3
B 図形	4	69.4	56.4	56.2
C 測定	2	70.4	54.9	54.8
C 変化と関係	3	72.4	58.2	57.5
D データの活用	5	76.3	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



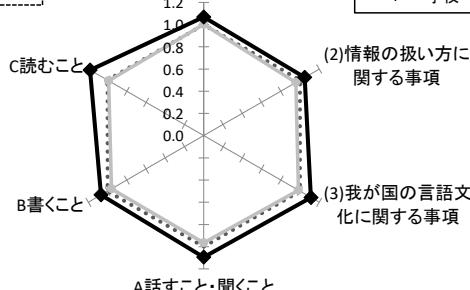
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語  
内容別正答率  
(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項

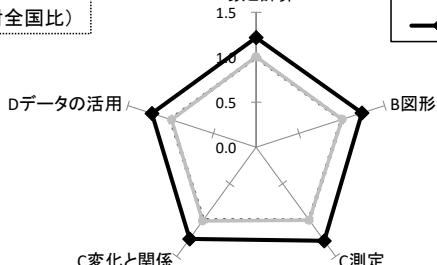
.....全国  
大阪市  
学校



算数  
領域別正答率  
(対全国比)

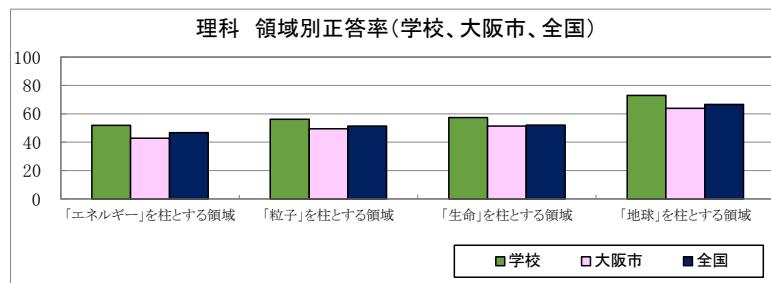
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項

.....全国  
大阪市  
学校

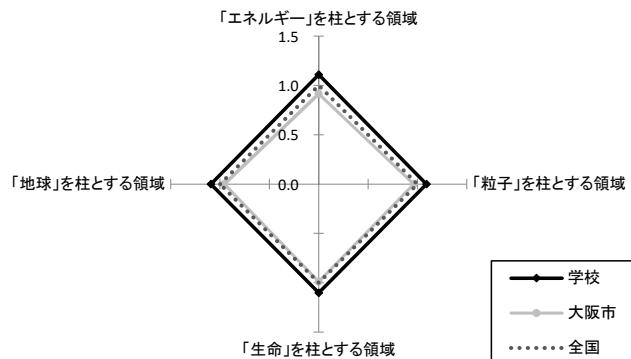


## 【 理科 】

学習指導要領の区分・領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A区分	「エネルギー」を柱とする領域	4	51.8	42.7	46.7
	「粒子」を柱とする領域	6	56.1	49.5	51.4
B区分	「生命」を柱とする領域	4	57.3	51.4	52.0
	「地球」を柱とする領域	6	72.9	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



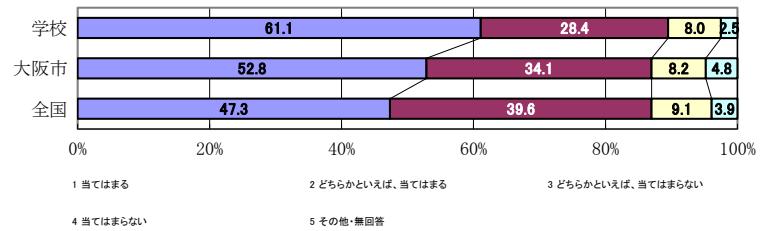
## 児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

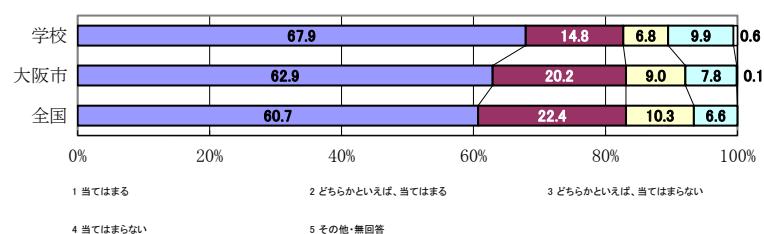
5

自分には、よいところがあると思いますか



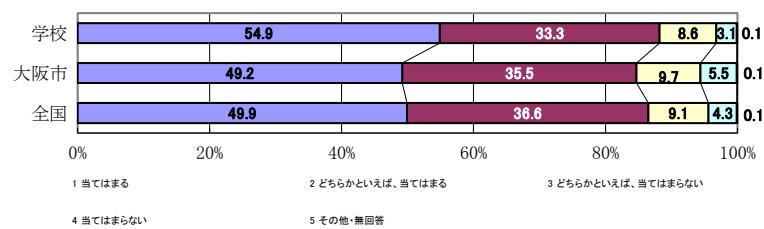
7

将来の夢や目標を持っていますか



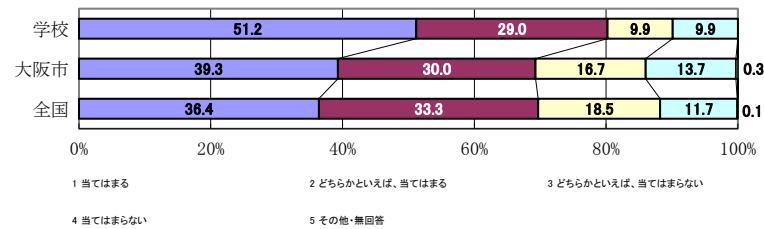
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



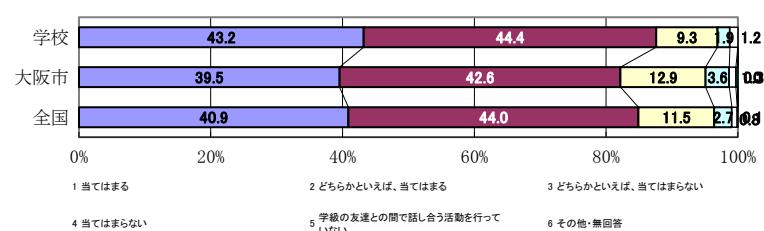
24

読書は好きですか



35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか



## 学校質問より

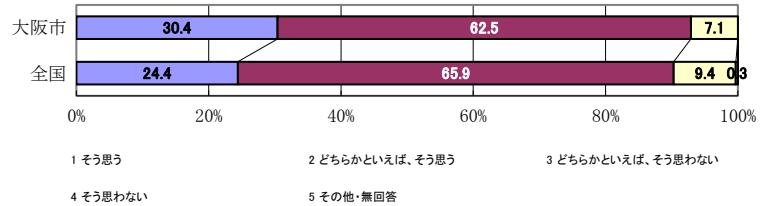
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

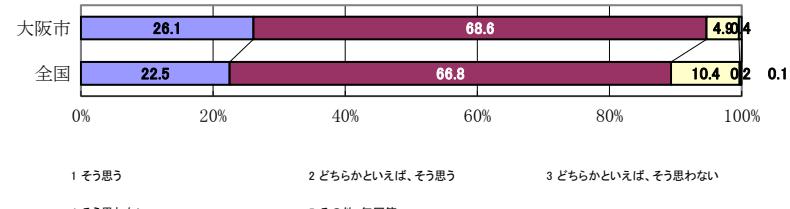
### 学校 「そう思う」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

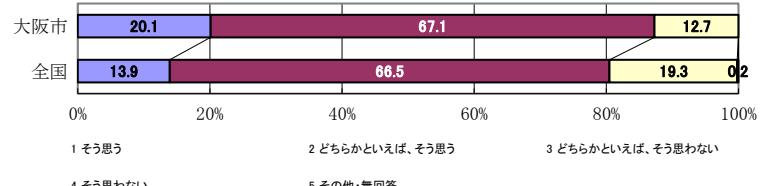
### 学校 「そう思う」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文草、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

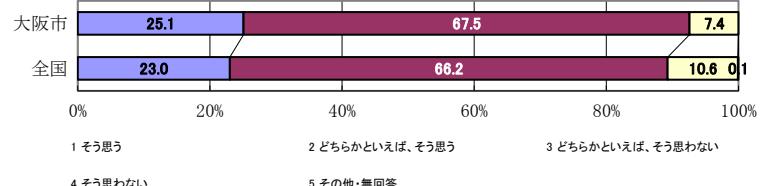
### 学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

### 学校 「そう思う」を選択



71

学校では、調査対象学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

### 学校 「どちらかといえば、行っている」を選択

